

# 6

## 牧野組合毎の野草地環境保全計画 (牧野カルテ) 作成支援

- 実施主体 環境省 九州地方環境事務所
- 実施場所 阿蘇市 融和牧野、二区坂下牧野、二区育成
- 実施期間 令和元年8月～令和2年3月



### <背景・ねらい>

阿蘇市郡内の牧野において、牧野内の野草地の現状、過去から現在に至るまでの植生の変化及び牧野の利用・管理状況の変化、牧野内の地名やその由来等を調査するとともに、野草地とその利用・管理状況を把握することにより牧野組合における今後の利用・管理の目標を策定する。

牧野カルテ作成支援の取り組みは、平成17年度より毎年3牧野程度で実施してきており、平成30年度までに46牧野において「野草地環境保全計画」を策定。

策定後は計画に基づき、野焼き、輪地切り等維持管理作業の労力軽減や安全性の向上に向けた事業を環境省・各市町村連携で進めている。

### ■実施概要

- ・各牧野の歴史等事情に詳しい組合員・長老などと意見交換会及びヒアリング調査を行い、牧野内の地名（呼び名）、牧野の利用・管理状況、動植物・昆虫の生息状況等の情報を収集。
- ・現地調査により地名を現地にて確認するとともに現在の牧野の状況を調査し、今後牧野を維持管理していくために必要な課題及び管理方針を整理のうえ整備計画方針を取りまとめる等牧野カルテの作成支援を実施。



意見交換会（融和牧野）

### ■実施体制

- ・牧野組合・学識経験者・阿蘇グリーンストックと連携を図り、意見交換、ヒアリング調査、現地調査及び取りまとめのための検討会を行い、野草地環境保全計画書（牧野カルテ）を策定。



ヒアリング調査（二区育成原野）

### ■成 果

- ・牧野の地名の由来や現状、過去から現在にかけての管理状況等を牧野関係者が再認識することにより、牧野の歴史の継承等に寄与するとともに草原維持の啓発に資するものである。
- ・平成17年度から49牧野組合において実施。
- ・牧野情報の収集、各牧野における課題の抽出、対応方針・整備計画方針を取りまとめた野草地環境保全計画書（牧野カルテ）を策定することで、牧野の歴史継承等に係る重要な資料となっている。



現地調査（二区坂下牧野）

### ■実施者の感想

- ・学識経験者・阿蘇グリーンストックを交えながら牧野関係者との直接的な意見交換・ヒアリング・現地調査等交流により、率直な意見交換が可能となっている。
- ・計画のとりまとめに当たっては牧野関係者の意見・考えを十分に反映しており、牧野の歴史継承等に資する活動であると考えている。



検討会（二区坂下牧野）